

報告書抄録

ふりがな	ひろかわつくだいせき・ひろかわみやのしたいせき							
書名	弘川佃遺跡・弘川宮ノ下遺跡							
シリーズ名	都市計画道路今津川線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書							
編著者名	中村健二・堀真人							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1号1番地 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月日	平成19年(2007年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ひろかわつくだいせき 弘川佃遺跡・ ひろかわみやのしたいせき 弘川宮ノ下遺跡	たかしまし 高島市	522	013	35度24分33秒	136度01分42秒	4,842㎡	20030302	都市計画道路今津川線緊急地方道路整備事業
	いまづちょう 今津町 ひろかわ 弘川	522	016	35度24分31秒	136度01分36秒		200503018	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
弘川佃遺跡・ 弘川宮ノ下遺跡	集落	縄文時代後期	落ち込み・流路・住居・土坑等		土器・石器			
	集落	飛鳥時代	竪穴住居・掘立柱建物		須恵器・土師器			
	集落	平安時代から室町時代	掘立柱建物・土墳墓等		土師器・灰釉陶器等			
要約	<p>縄文時代から室町時代に至る集落跡が検出された。縄文時代の集落では、特に落ち込み・流路といった遺構から大量の土器および石器が出土している。土器の中には、搬入品と思われるものや水銀朱で装飾したり、加工・貯蔵したものとと思われるものがある。水銀朱の例としては原産地を除くと初期のものと位置付けられるものである。石器では、頁岩製の石器や剥片が目立ち、当遺跡内で製作していた可能性をうかがわせるものであった。飛鳥時代の集落では、竪穴住居が集中して検出されている。これらの竪穴住居は、遺存状態が良好で、壁溝・かまど・入り口などの屋内施設が復元できるような状況であった。また、平安時代～室町時代に至る掘立柱建物の変遷が追える。そして、周辺遺跡の状況から、条里形成から集村にいたる景観を復元することができ、石田川右岸域の遺跡の動態を明らかにすることができた。これらの状況は、当遺跡が立地する北陸道と若狭街道の分岐点という交通の要衝であることが大きく関わっていると考えられ、それは、時期を問わず変わらないことが判明した。</p>							